

議事録

2026 年度 第 3 回

多世代交流施設 尾久のはらっぱ

グループホーム尾久の原

小規模多機能ホーム尾久の原

運営推進会議

2026 年 9 月 18 日（金）

13 : 00～13 : 30（GH）

13 : 30～14 : 00（小規模）

式次第

① 開会の挨拶

② 運営推進会議メンバー紹介

荒川区役所/包括支援センター：0 名

荒川区社会福祉協議会：0 名

町屋図書館：1 名

町屋保育園：1 名

地域住民代表：4 名

公園管理センター：1 名

小規模多機能ホーム尾久の原：1 名

グループホーム尾久の原：1 名

③ 各事業の状況報告

Q：入居者が亡くなられて直ぐに入居されているようだが、待っている方はいるのか？

A：小規模から入居される事も多く、現在もお待ち頂いている。

Q：特養の申し込みは出来るのか？

A：原則要介護3以上だが、条件を満たせば要介護1でも入所する事が出来る。
申し込み自体は出来る。

Q：薬の事故について、大事な薬ばかりなのか？

A：生命に関わる事であり、薬の種類に関係なく法人として重きを置いており、飲み終わるまでに4回の確認を再度徹底していく。

④ 6～7月の活動写真

⑤ 皆さまからのご意見、ご提案など

伝達事項

- ① 前回上がった1階スペースの利用方法については、口頭で説明を実施。
- ② 小規模利用者様、利用中の対応で玄関前の扉にダイヤルロックを掛けて欲しいとご依頼を受けたが、身体拘束に該当する可能性がある為、別の対策を提案した。

⑥ 次回の日程確認

2026年11月20日（金）

13：00 ～ 13：30（GH）

13：30 ～ 14：00（小規模）

【グループホーム尾久の原 3階・4階】

報告者:中澤ひとみ・青木喜美子

2026年9月15日現在

1 入居者情報 入居者数 3階9名・4階9名

① 入退居状況

3階:9月4日、看取りケア対応中の方がご逝去される。(退居)9月11日、新規入居される。

4階:なし

② 現在の入居者状況

3階	男性	1名	女性	8名	合計9名
4階	男性	3名	女性	6名	合計9名
平均年齢	3階	90歳	4階	90歳	
平均要介護度	3階	2.6	4階	2.2	

③ 入院状況

3階:7月13日～8月31日退院(女性・食欲不振⇒胃腸炎)

7月27日～8月6日退院(男性・転倒)

4階:7月13日～8月6日退院(女性・転倒恥骨骨折)

9月13日～(女性・尿路感染症疑い)

2 職員情報

3階:7名

4階:10名

3階			4階		
介護従業者	常勤	5名	介護従業者	常勤	7名
	非常勤	2名		非常勤	3名
	男性1名	女性6名		男性1名	女性9名

3 活動状況(2026年8月～2026年9月)

写真にて報告

4 事故・苦情報告

事故 2 件

事故

発生日時・・・8月12日5時40分頃

発生場所・・・自室(ご自身のお部屋)

事故の種別・・・転倒

発生時状況・・・「ゴン」と音がして訪室すると、クローゼット側に頭・ベッド側に足の向きで左側臥位で倒れている姿を発見する。その際ズボンは膝まで脱げていた。

発生時対応・・・介助にてベッドへ座る。「足が滑っちゃった」と本人話される。周囲に汚染した様子はなかったが、ズボンが途中までしか上がっていなかった為、歩行しづらい状況であった。

再発防止対策・・・緊急会議を実施し、ご本人様の部屋の動きを再確認・共有する。

- ① ご自身でタンス周囲の整理をされる事が多い、自室環境を相談しながら見直す。
- ② センサー設置検討、危険個所を再度洗い出し対策を練る。

発生日時・・・9月8日17時20分頃

発生場所・・・食堂等共用部

事故の種別・・・与薬忘れ

発生時状況・・・日勤者が夕食後薬の整理をしていた際、昼食後薬が忘れてしまっている事に気づく。

発生時対応・・・主治医へ連絡し、指示を仰ぐ。(点眼薬を忘れてしまった)

本人様への影響は現在見られていない。

再発防止対策・・・起因者への面談、聞き取りを実施。通常二人で目で確認して薬を実施するが、二人での連携が図れておらず、一人で実施。更に実施後与薬した職員以外の職員が忘れや間違いがないか確認する事になっているが、忙しくてという理由から夕方まで確認しなかった。

- ① マニュアル通り確実に実施する事を再度指導する。
- ② 与薬後の確認は、直ぐに実施する事、終了後声を掛け合う事を徹底する。
- ③ 起因者の与薬状況を確認し、状況に応じて面談を実施していく。